

マツヤマ S S K アリーナ（名張市総合体育館）等 改修工事

（ 2 0 2 1 年 0 2 月 0 5 日 付 ）

+

+

図 面 リ ス ト					
A－00	図 面 リ ス ト	A－36	1 階改修指示平面図1（改修後）	A－72	総合体育館 展開図7－1（現況）
A－01	改修工事特記仕様書1	A－37	1 階改修指示平面図2（現況）	A－73	総合体育館 展開図7－2（改修後）
A－02	改修工事特記仕様書2	A－38	1 階改修指示平面図2（改修後）	A－74	総合体育館 階段展開図1（現況・改修後）
A－03	改修工事特記仕様書3	A－39	1 階改修指示平面図3（現況）	A－75	総合体育館 階段展開図2（現況・改修後）
A－04	改修工事特記仕様書4	A－40	1 階改修指示平面図3（改修後）	A－76	総合体育館 階段展開図3（現況・改修後）
A－05	改修工事特記仕様書5	A－41	2 階改修指示平面図1（現況）	A－77	総合体育館 階段展開図4（現況・改修後）
A－06	改修工事特記仕様書6	A－42	2 階改修指示平面図1（改修後）	A－78	勤労者福祉会館 展開図1（現況・改修後）
A－07	改修工事特記仕様書7	A－43	2 階改修指示平面図2（現況）	A－79	勤労者福祉会館 展開図2（現況・改修後）
A－08	位 置 図	A－44	2 階改修指示平面図2（改修後）	A－80	勤労者福祉会館 展開図3－1（現況）
A－09	工 事 概 要	A－45	2 階改修指示平面図3（現況）	A－81	勤労者福祉会館 展開図3－2（改修後）
A－10	外部仕上表（現況・改修後）	A－46	2 階改修指示平面図3（改修後）	A－82	勤労者福祉会館 展開図4－1（現況）
A－11	内 部 仕 上 表 1	A－47	2 階改修指示平面図4（現況）	A－83	勤労者福祉会館 展開図4－2（改修後）
A－12	内 部 仕 上 表 2	A－48	2 階改修指示平面図4（改修後）	A－84	勤労者福祉会館 展開図5（現況・改修後）
A－13	内 部 仕 上 表 3	A－49	1 階天井伏図（現況・改修後）	A－85	屋根伏防水改修指示図（現況・改修後）
A－14	内 部 仕 上 表 4	A－50	2 階天井伏図（現況・改修後）		
A－15	内 部 仕 上 表 5	A－51	1 階軒天詳細図（現況・改修後）	E－01	電気設備特記仕様書
A－16	内 部 仕 上 表 6	A－52	1 階建具平面図（現況）	E－02	1 階 平 面 図
A－17	全 体 配 置 図	A－53	1 階建具平面図（改修後）	E－03	1 階平面図（改修後）防災設備
A－18	配置図 兼 仮設計画図	A－54	2 階建具平面図（現況）	E－04	2 階平面図（改修後）
A－19	1 階 平 面 図	A－55	2 階建具平面図（改修後）	E－05	3 階 平 面 図
A－20	2 階 平 面 図	A－56	3 階建具平面図（現況）	E－06	総合体育館 2 階便所平面詳細図（現況・改修後）
A－21	3 階 平 面 図	A－57	3 階建具平面図（改修後）	E－07	配 置 図
A－22	屋 根 伏 図	A－58	建具表1（現況・改修後）	E－08	総合体育館 高圧受変電設備 単線結線図
A－23	立面図1（現況・改修後）	A－59	建具表2（現況・改修後）	E－09	1 階電気室 平面詳細図
A－24	立面図2（現況・改修後）	A－60	総合体育館 2 階便所平面詳細図（現況・改修後）	E－10	屋外キュービクル 改修 詳細図－1
A－25	断 面 図 1	A－61	総合体育館 2 階便所展開図（現況・改修後）	E－11	屋外キュービクル 改修 詳細図－2
A－26	断 面 図 2	A－62	総合体育館 2 階手洗い展開図（現況・改修後）	E－12	全 体 配 置 図
A－27	パラペット詳細図1（現況）	A－63	総合体育館 展開図1（現況・改修後）		
A－28	パラペット詳細図2（現況）	A－64	総合体育館 展開図2（現況・改修後）	M－01	機械設備特記仕様書
A－29	パラペット詳細図3（現況）	A－65	総合体育館 展開図3－1（現況）	M－02	図示記号・機器・器具表
A－30	パラペット詳細図4（現況）	A－66	総合体育館 展開図3－2（現況）	M－03	2 階 平 面 図
A－31	パラペット詳細図5（現況・改修後）	A－67	総合体育館 展開図3－3（改修後）	M－04	3 階 平 面 図
A－32	2 階笠木平面図（改修後）	A－68	総合体育館 展開図3－4（改修後）	M－05	総合体育館 2 階便所平面詳細図（現況・改修後） 給排水衛生設備
A－33	3 階笠木平面図（改修後）	A－69	総合体育館 展開図4（現況・改修後）	M－06	総合体育館 2 階便所平面詳細図（現況・改修後） 換気設備
A－34	屋根笠木伏図（改修後）パラペット改修図	A－70	総合体育館 展開図5（現況・改修後）		
A－35	1 階改修指示平面図1（現況）	A－71	総合体育館 展開図6（現況・改修後）		

2

仮設便所

工事用水

工事用電力

交通誘導警備員

7

8

9

10

3

防水改修工事

構内既存の施設

・利用できる○利用できない

構内既存の施設

○利用できる(○有償・無償)・利用できない

構内既存の施設

○利用できる(○有償・無償)・利用できない

本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

配置○図示(図面番号:)

工 法	種 別	施 工 箇 所
・PIB	・B-1・B-2・B-3	
・PIE ・P2E	・E-1・E-2	

改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()

厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()

厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による・()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, POD1, M3D1, M4D1)

材質・()

・押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA (スキンあり)

・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号

・硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号

厚さ・()

ルーフトレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置・図示(図面番号:)

(3.3.3)(2)(4)

(3.3.3)(3)

(3.3.5)

(表8.1.5)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)

・設ける〔設置数量・図示(図面番号:)、材質()〕

・設けない

・仕上塗料 種類() 使用量()

保護コンクリートの厚さ こて仕上げ・水下80mm以上・()

床タイル張り・水下60mm以上・()

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ・a種・b種・c種

保護層・設ける・設けない

屋上排水溝の適用○適用する

立上り保護・乾式保護材()・コンクリート押え

・れんが(材種・JIS R1250)・モルタル押え

改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()

厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()

厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による・()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)

材質、厚さ()

図示・()

(3.4.3)

(表3.4.1)～

(表3.4.3)

工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・M4AS	・AS-T1・AS-T2 ・AS-J2		

脱気装置

・設ける〔設置数量・図示(図面番号:)、材質()〕

・設けない

ルーフィングシート

種類○改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による・()

厚さ○改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による・()

絶縁用シート・発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状・図示()

断熱工法の断熱材 (POS1, S4S1, S3S1, M4S1)

材質、厚さ()

図示・()

(3.5.3)

(表3.5.1)～

(表3.5.3)

工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・S3S ・S3S1	・S-F1(S1-F1) ・S-F2(S1-F2)		
○M4S ・M4S1	・S-M1(S1-M1) ○S-M2(S1-M2)	平場・立上がり (立上がりは接着工法)	

脱気装置

○設ける〔設置数量○図示(図面番号:)、材質()〕

・設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理・図示(図面番号:)

増張り・図示(図面番号:)

保護層の施工・図示(図面番号:)

(3.5.4)

(3.6.3)

(表3.6.1)

(3.6.3)(1)

塗膜防水

(3.6.3)

(表3.6.1)

(3.6.3)(1)

工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料
・POX ○L4X	・X-1○X-2	設備基礎部	主材料の製造所仕様による

脱気装置

・設ける〔設置数量・図示(図面番号:)、材質()〕

○設けない

工 法	種 別	施 工 箇 所
・PIY ・P2Y	・Y-2	

保護層・図示(図面番号:)

(3.6.3)(2)

5

6

7

8

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(3)(4)

(3.2.6)(3)(加)

シーリング

(3.7.2)

(表3.7.1)

(3.7.4～7)

(3.7.8)

とい

(3.8.2)

(表3.8.1)

(表3.8.2)

アルミニウム製笠木

(3.9.2)(3)

(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

(3.9.2)(4)

(3.9.3)

(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1)

(L4X)

○行う・行わない

○行う・行わない

材料

種類	材種	SR-2	—	SR-1	内部水回り等
・SR-2○SR-1	シリコーン系	SR-2	—	SR-1	防水端部
○MS-2○MS-1	変成シリコーン系	MS-2	笠木部	MS-1	防水端部
○PS-2・PS-1	ポリサルファイド系	PS-2	サッシ周囲	PS-1	—
・PU-2・PU-1	ポリウレタン系	PU-2	—	PU-1	—

工 法

○シーリング充填工法

・シーリング再充填工法

・拡幅シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

シーリング材の試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

・行わない

材 種

・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー)

・配管用鋼管 (白管)

○横引き・縦引き・フロアドレン防水部改修用ドレン (周囲防水シート増貼り共)

とい受金物及び足金物

といの材種	形状	取付け間隔

工 法

・図示(図面番号:)

部材の種類

○押出し250形

○押出し300形

○押出し350形

○板材折曲げ形 (本体幅()mm、板厚・2.0mm・())

固定金具の間隔 (600 mm) 程度

固定方法○(ホルダー、アンカー固定)

表面処理・()

工 法

既存笠木の撤去○図示(図面番号:)

下地補修の工法○図示(図面番号:)

板材折曲げ形の笠木の取付方法○図示(図面番号:)

笠木固定金具の工法○図示(図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

4

外壁改修工事

1

2

施工数量調査

・行う・行わない

調査範囲・全面・()

調査項目

・ひび割れ部(・幅0.2mm・0.2mm～1.0mm・1.0mm以上)

・はがれ及びはく落部分

・浮き部

調査方法・打診、目視及びクラックスケール等(・足場・ゴンドラ)

報告書2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

外 壁

種類	改修工法
・コンクリート打放し 仕上り外壁	・樹脂注入工法 ・ウカットシール材充填工法 ・シール工法
欠損部	・()
ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・ウカットシール材充填工法 ・シール工法
欠損部	・充填工法 ○モルタル塗替え工法
・モルタル塗り仕上り外壁	・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・充填工法 ○モルタル塗替え工法
ひび割れ部	・樹脂注入工法 ・ウカットシール材充填工法
欠損部	○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法
・タイル張り仕上り外壁	・アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング ・部分エポキシ樹脂注入工法 ・全面エポキシ樹脂注入工法 ・全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ○タイル部分張替え工法 ・タイル張替え工法
目地	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法
・塗り仕上り外壁	・薄付け仕上塗材塗り ・厚付け仕上塗材塗り ・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り ・外壁用塗膜防水材塗り

3

改修工法等

(4.2.2)(1)

(4.3.4)

(4.4.5)

(4.5.5)

(4.2.2)(2)

(4.3.5)

(4.4.6)

(4.5.6)

(4.2.2)(3)

(4.3.6)

(4.4.7)

(4.2.2)(4)

(4.3.7)

(4.4.8)

(4.2.2)(7)

(4.4.9)

(4.2.2)(5)

(4.4.10)

(図4.4.1)

(4.2.2)(5)

(4.4.11)

(図4.4.2)

(4.2.2)(5)

(4.4.12)

(図4.4.2)

(4.2.2)(6)

(4.4.13)

(図4.4.3)

(4.2.2)(6)

(4.4.14)

(図4.4.4)

(4.2.2)(6)

(4.4.15)

(図4.4.4)

(4.2.2)(8)

(4.5.7)

(4.5.15)

(4.5.8)

(表4.5.4)

(4.5.15)

(4.2.2)(9)

(4.5.16)

・樹脂注入工法

種類・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

注入量() 注入間隔()

・手動式エポキシ樹脂注入工法

注入量() 注入口間隔()

・機械式エポキシ樹脂注入工法

注入量() 注入口間隔()

材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)

・低粘度形

・中粘度形

コア抜取検査・行う・行わない

・抜取り個数()

・抜取り部分補修方法()

・ウカットシール材充填工法

材料・シーリング用材充填

(・PU-1・PU-2・())

・可とう性エポキシ樹脂充填

シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填

・行う・行わない

・シール工法

材料・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

・充填工法

材料・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

○モルタル塗替え工法

材料・現場調査材料○既調査材料

・既製目地材の適用及び形状()

・仕上げ厚(25 mm)

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数・標準・()

材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数・標準・()

材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数・標準・()

材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数・標準・()

材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

呼び径・6mm・()

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数・標準・()

材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

呼び径・6mm・()

・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置・標準・()

材料・ポリマーセメントスラリー()

・注入口付アンカーピン(・ステンレス鋼(SUS304)・())

呼び径・6mm・()

○タイル部分張替え工法

張替え材料○ポリマーセメントモルタル

・接着剤(一液反応硬化形変成シリコーン樹脂)・()

施工箇所

形状

寸法

耐滑り性

標準・特注色の別

耐凍害性の有無

・役物(・一体成形・接着加工)

・試験張り・行う○行わない

・見本焼き・行う○行わない

・既調合モルタル○使用する・使用しない

・タイル張替え工法

タイルの種類

タイルの大きさ

工 法

塗り厚(mm)

○外装タイル

小口以上二丁掛け以下

・密着張り

7～10

○改良圧着張り

下地側

4～6

タイル側

3～4

・ユニットタイル

・25mm角を超え小口未満

・マスク張り

3～4

・小口未満

・モザイクタイル貼り

3～5

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピンの本数(本)

・目地ひび割れ部改修工法

伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地

(位置 寸法 ×)

検査 シーリング接着性試験

・行う(・簡易接着性試験・引張接着性試験)

特 記

工事名

マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)等改修工事

図名

改修工事特記仕様書2

縮尺

—

図面番号

A-02

1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)

〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地

TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067

E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認

1級256630号

監 査 室 敦 司

図面提出日

2021/01/20

印

7

塗装改修工事

8

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) (7.9.2)～(7.9.5) (表7.9.1)～(表7.9.4)

種類

下地	種類
コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
垂れめっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種

9

合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)

種類

種類	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()
----	----------------------------

10

合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1)

種類

種類	・ A種 ・ B種 ・ C種
----	----------------

11

ウレタン樹脂ワニス塗り (UG) (7.12.2) (表7.12.1)

種類

種類	・ A種 ・ B種
----	-----------

12

オイルステイン塗り (OS) (7.13.2) (表7.13.1)

塗料

塗料	()
----	-----

13

木材保護塗料塗り (WP) (7.14.2) (表7.14.1)

種類

種類	・ A種 ・ B種
----	-----------

8の1

耐震改修工事 共通事項

(一般事項)

1 適用範囲

(8.1.1) (8.1.2)

工事内容

- 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
- 鉄骨ブレースの設置工事
- 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
- 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
- 柱補強工事 (連続繊維補強工法)
- 耐震スリット新設工事
- 免震改修・制振改修工事

工事種別

- 鉄筋工事
- あと施工アンカー工事
- コンクリート工事
- 鉄骨工事
- グラウト工事
- 連続繊維補強工事
- スリット新設工事
- 免震改修・制振改修工事
- 土工事及び地業工事

8の2

耐震改修工事 撤去工事

1 既存部分の撤去等

(8.21.2)

撤去の範囲

- 図示 (図面番号:)
- 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分
- 既存コンクリート撤去範囲に面する部分
- ()

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置

本工事の範囲

- 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分
- 設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。
- ()

撤去範囲

撤去範囲	・ 図示 (図面番号:)
------	---------------

2 既存構造体の撤去

(8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)

既存構造体の撤去

撤去範囲

撤去範囲	・ 図示 (図面番号:)
------	---------------

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし	
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()	

はつりだした鉄筋の処置

- 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。
- ()

はつりだした鉄骨の処置

- 発泡スチロール等で養生する。
- ()

(既存部分の処理)

3 既存構造体コンクリート(表層)目荒らし

(8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)

既存構造体コンクリート面の表層目荒らし程度

- 平均深さ2～5mmで最大深さ5～7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15～30%程度の面積となるように施す。
- 図示 (図面番号:)

8の3

耐震改修工事 鉄筋工事

1 鉄筋

(8.2.1) (表8.2.1)

材料 改修標準仕様書 (表8.2.1)による

種類	径 (mm)
・ SD295A	
・ SD345	
・ SD390	
・ ()	

2 溶接金網

(8.2.2)

網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)

3 加工

(8.3.2)

90°未満の折曲げの内法直径

	・ 図示 (図面番号:)
--	---------------

4 鉄筋の継手及び定着

(8.3.4)

	径	部位
重ね継手	・ D 16以下	
ガス圧接	・ D 19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ

- 改修標準仕様書 (8.3.4) (3) (7)による
- 図示 (図面番号:)

継手位置

- 各部配筋参考図による
- 図示 (図面番号:)

先組み工法等

- 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ

- 改修標準仕様書 (表8.3.4)による
- (表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示 (図面番号:)
- 図示 (図面番号:)

帯筋組立の形、継手及び定着

- 図示 (図面番号:)

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

	・ () mm
--	----------

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(8.3.5) (表8.3.6)

6 各部配筋

- 図示 (図面番号:)

7 ガス圧接

(8.3.8)

圧接完了後の試験

- 超音波探傷試験
- 行う
- 行わない

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼	・ R235 ・ ()	・ 6Φ ・ 9Φ	・ スパイラルの径 (mm) () ・ スパイラルのピッチ (mm) ()	・ 図示 (図面番号:)
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・ 295A ・ ()	・ 10 ・ ()	・ 壁内方向筋 () ・ 壁面外方向筋 ()	

9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手

(8.21.6) (8.22.7) (8.4.2) (8.4.3)

機械式継手

- 種類 ()
- 性能 ()
- 施工完了後の継手部の試験 ()
- 不合格となった継手部への措置等 ()

適用箇所

適用箇所	()
------	-----

鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあき	() mm
---------	--------

溶接継手

- 工法 ()
- 性能 ()
- 溶接完了後の溶接部の試験 ()
- 不合格となった溶接部への措置等 ()

適用箇所

適用箇所	()
------	-----

鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあき	() mm
---------	--------

8の4

耐震改修工事 コンクリート工事

(コンクリート工事一般事項)

1 コンクリートの種類及び強度

(8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)

コンクリートの類別

- I類
- II類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ
・ 24 ・ ()		・ 2.3t/m ³ 程度	

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ
・ ・ ()	・ 1種 ・ 2種			

2 構造体コンクリートの仕上り

(8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)

コンクリートの仕上りの平たんさ

- a種
- b種
- c種

セメントの種類

- 普通ポルトランドセメント
- 高炉セメントA種
- シリカセメントA種
- フライアッシュセメントA種
- ()
- 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種

適用箇所

適用箇所	()
------	-----

3 コンクリートの材料

(8.2.5) (表8.2.3)

合板せき板を用いる場合の放たし仕上りの種別

- A種
- B種
- C種

コンクリートの仕上りの平たんさ

- a種
- b種
- c種

4 混和材料

(8.2.5)

骨材

アルカリシリカ反応性による区分

- A
- B

- 特殊な骨材の使用
- フェロニッケルスラグ細骨材
- 鋼スラグ細骨材
- 電気炉酸化スラグ骨材
- 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)

・ 混和剤

混和剤の種類

- 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (a)による
- 図示 (図面番号:)

・ 混和材

混和材の種類

- 改修標準仕様書 (8.2.5) (4) (b)による
- 図示 (図面番号:)

構造体強度補正値 (S)

・ 3N/mm ²	・ 6N/mm ²	・ ()
----------------------	----------------------	-------

6 養生

(8.7.7)

・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()

7 型枠

(8.2.7) (8.7.8)

材料

- 複合合板 (厚さ ・ 12mm ・ ())

スリーブ

- 材種 ()
- 規格 ()

型枠存置期間及び取外し

- 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()

8 暑中コンクリート

(8.10.2)

構造体強度補正値 (S)

・ 6N/mm ²	・ ()
----------------------	-------

9 無筋コンクリート

(8.11.1)

コンクリートの種類

- 普通コンクリート
- ()

設計基準強度

- 18N/mm²
- ()

スランプ

・ 15cm	・ 18cm	・ ()
--------	--------	-------

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)

10 コンクリートの打込み工法等

(8.21.8) (8.23.5)

部位別のコンクリートの打設工法の指定

補強工法	打設工法	部位
現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・ 流込み工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (7) 及び (2)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 圧入工法 改修標準仕様書 (8.21.8) (1) (4) 及び (3)	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	・ 工法指定なし	・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
(8.23.6)	・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()

柱頭柱脚の隙間部間の型枠

- 発泡プラスチック保温材等を埋込む
- ()

柱頭柱脚の隙間寸法

- 図示 (図面番号:)

打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ

- 図示 (図面番号:)
- 60mm
- ()

・ 図示 (図面番号:)

11 増設壁工事後の仕上げ

(8.21.10) (8.23.7)

特 記

工事名

マツヤマSSKアリーナ (名張市総合体育館) 等 改修工事

図名

改修工事特記仕様書 5

縮尺

—

図面番号

A-05

HAKUHO

Architech

白鳳アーキテック 株式会社

1級建築士事務所 登録 (三重1-1987号)

〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地

T E L 0595-48-6066 F A X 0595-48-6067

E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承 認

1級 256630号

萱室 敦司

管理建築士

印

8 の 5 耐震 改修 工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー)	種類
	1 あと施工アンカーの材料 (8. 2. 4) (表8. 2. 2)	・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	2 あと施工アンカーの施工 (8. 12. 4) (8. 12. 6) (8. 12. 7)	穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ () 1ロットの単位 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本 (無作為) ・ () 確認強度 ・ ()
	(場所打ちコンクリート壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ
	3 シアコネクタ	種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚－40 ・ () 彫込み深さ[mm] ・ 5 d (d: シアコネクタの径) 以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場 (8. 1. 5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8. 1. 6)	施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない ・ する
	3 鋼材 (8. 2. 8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)
	4 高力ボルト (8. 2. 9) (8. 14. 2) (8. 14. 7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当) ねじの呼び ・ 図示 (図面番号:) すべり試験 ・ 行う (試験方法等 図示: 図面番号) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・ ()
	5 溶接材料 (8. 2. 10)	・ 改修標準仕様書 (8. 2. 10) (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示 (図面番号:)
	6 仮組 (8. 13. 10)	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない
	7 溶接作業を行う技能資格者 (8. 15. 3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する () ・ 実施しない
	8 溶接の準備 (8. 15. 4)	開先の形状 ・ 図示 (図面番号:)
	9 溶接施工 (8. 15. 7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:) 切断面の仕上げ ・ () 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラクスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A級以上) 又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてすること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてすること。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラー部の形状 ・ 図示 (図面番号:)
	10 溶接部の試験 (8. 15. 12)	溶接部の外観試験 ・ 試験方法 () ・ 確認方法 () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7. 6. 12) (4) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4. 0% ・ 2. 5% ・ () 検査水準 ・ 第6水準 ・ () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7. 6. 12) (4) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4. 0% ・ ()

	1 1 鉄骨の錆止め塗装 (8. 17. 2) (8. 17. 4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る） ・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1)（ ）種 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示（図面番号： ） ・ 改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1)（ ）種 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示（図面番号： ）												
	1 2 耐火被覆材の種類及び性能 (8. 18. 2) (8. 18. 3)	<table><tr><th>部位</th><th>種類</th><th>材料・工法</th><th>耐火性能</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部位	種類	材料・工法	耐火性能								
	部位	種類	材料・工法	耐火性能										
1 3 ブレース設置工事後の仕上げ (8. 22. 9)	・ 図示（図面番号： ）													
1 4 スタッド (8. 2. 11)	スタッドの種類 ・（ ）													
8 の 7 耐震改修工事 グラウト工事	(グラウト工事) 1 モルタル及びグラウト材 (8. 2. 6) (8. 2. 12) (表8.2.5) (表8.2.10) 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等) 2 既存構造体との取合部の処理方法 (8. 21. 9) (8. 22. 7)	構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書(8.2.12)(1)による ・（ ） グラウト材 ・ 改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法 <table><tr><th>部位</th><th>処理方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 増設壁の上部</td><td>・ グラウト材を注入 ・（ ）</td><td>・ 寸法は図示による</td></tr><tr><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td><td>・（ ）</td></tr></table>	部位	処理方法	備考	・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による	・（ ）	・（ ）	・（ ）			
部位	処理方法	備考												
・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入 ・（ ）	・ 寸法は図示による												
・（ ）	・（ ）	・（ ）												
8 の 8 耐震改修工事 柱補強工事	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート等による工法 (8. 24. 1) 2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8. 2. 13) 3 連続繊維シートの施工準備 4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8. 23. 6) 5 耐震補強後の仕上げ (8. 23. 7) (8. 24. 7) 6 炭素繊維シートの施工 7 連続繊維補強材の強度試験 (8. 24. 6)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・（ ） 連続繊維の材料 ・（ ） 工法 ・（ ） 引張強度（含浸硬化後） ・（ ） ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ） 仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造躯体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・（ ） 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う（ ） ・ 行わない ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 ・ ｼｬｰｯﾄｼｰﾙ材充填工法 ・ シール工法 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示（図面番号： ） ・ 図示（図面番号： ） 炭素繊維の目付量 ・ 図示（図面番号： ） ・ 200g/m2 ・ 300g/m2 ・（ ） 炭素繊維シートの巻き数 ・ 図示（図面番号： ） ・ 1巻き ・ 2巻き ・（ ） 引張強度試験 ・ 実施する（JIS A1191に準拠する） 試験数量（ ） ・ 実施しない												

8 の 9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事	(耐震スリット新設工事)	付着強度試験 ・ 実施する (JIS A6909に準拠する) 試験数量 () ・ 実施しない 耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状	<table><tr><td></td><td>一般型</td><td>一面せん断型</td><td></td></tr><tr><td>記号</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>形状</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td></tr><tr><td>幅W (mm)</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td></td></tr><tr><td>既存鉄筋の処理</td><td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td><td>・ 切断してよい ・ ()</td><td></td></tr></table> 部分スリットの形状 <table><tr><td></td><td>片側スリット</td><td>両面スリット</td><td></td></tr><tr><td>記号</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>形状</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td>・ 図示 (図面番号:)</td><td></td></tr><tr><td>幅W (mm)</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ ()</td><td></td></tr><tr><td>目地部の残存厚さ</td><td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()</td><td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()</td><td></td></tr><tr><td>ts (mm)</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td></td></tr><tr><td>既存鉄筋の処理</td><td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td><td>・ 存置する ・ 切断してよい</td><td></td></tr></table>		一般型	一面せん断型		記号				形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()		既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()			片側スリット	両面スリット		記号				形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()		目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()		ts (mm)	・ ()	・ ()		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい	
		一般型	一面せん断型																																																
記号																																																			
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																	
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																	
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()																																																	
	片側スリット	両面スリット																																																	
記号																																																			
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																	
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()																																																	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ()																																																	
ts (mm)	・ ()	・ ()																																																	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい																																																	
2 スリットの施工	スリット部の配管等の調査 範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 方法 ・ 鉄筋探査機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 スリットの逃げ位置 壁上端部 ・ 梁との接合部 ・ () 壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃がしたきわ部 ・ () 壁下端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・ () 撤去部の補修 ・ 図示 (図面番号:) 充填材 ・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 () ・ 遮音材 使用箇所 () 仕様 () 免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。																																																		
3 免震・制振改修 (8. 26. 1) ~ (8. 27. 9)																																																			

8 の 10 その他工事	1 土工事 (8. 28. 2) (8. 28. 3)	既存杭の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないよう、関係法令等に基づき適正に処理すること。 ・ 現場内利用できる ・ 仮置き場所 () ・ 運搬距離 (Km) ・ 現場内利用できない ・ 受入地指定 受入地の条件 ・ 受入先、施工条件、特定条件等 (図面番号:) ・ 運搬距離 (Km) ・ 受入料金あり ・ 受入料金なし ・ 受入地未定につき別途協議する。 暫定運搬距離 (Km) 山留めの撤去 ・ 撤去 (鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 直ちに砂で充填する ・ ()) ・ 存置
	2 地業工事 (8. 28. 4)	杭の施工監理 杭工事特記仕様書による。 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日) 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 試験杭及び試験掘 ・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 ・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 杭の支持層 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ () 水平方向の位置ずれの精度 ・ () mm以下

特 記		工事名	マツヤマSSKアリーナ (名張市総合体育館) 等 改修工事				1級建築士事務所 登録 (三重1ー1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
		図名	改修工事特記仕様書 6	縮尺	—				1級 256630号	
		図面番号			A-06			図面提出日	2021/01/20	萱室 敦司

9

環境配慮改修工事

杭の載荷試験
試験方法 ・鉛直載荷 ・水平載荷 ・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・提出部数 2部

地盤の載荷試験
試験方法 ・平板載荷 ・()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・提出部数 2部

杭地業の工法、寸法
・図示(図面番号:)

杭頭処置
・行う ・行わない

砂利及び砂地業
範囲 ・図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・60 ・()

捨てコンクリート地業
範囲 ・図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・50 ・()

1

石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

施工調査
・石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。

調査範囲 ・図示(図面番号:) ・()
貸与資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による
・JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による
・JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による
・JIS A 1481-4(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部:質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()
	・箇所数()	・箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・図示(図面番号:) ・()

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定4		負圧・除じん装置の排出吹出し口 以下の位置	計 点
・	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計 点
・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計 点
・	測定8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・1 ・()	・5 ・()	・10 ・()
試料の吸引時間(min)	・5 ・()	・120 ・()	・240 ・()

(9.1.3)

・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)
除去工法 ・改修標準仕様書9.1.3(2)⑦による ・()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
湿潤化 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.4)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)
除去方法 ・改修標準仕様書9.1.4(1)による ・()
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.5)

○石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・図示(図面番号:)

石綿含有せっこうボードの処分
埋立処分(管理型最終処分場)

石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
○埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(熔融又は無害化による)

2

断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)~(9.2.3)

3

外断熱改修工事
(9.3.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・ロックウール断熱材	
・グラスウール断熱材	
・()	

施工箇所
・図示(図面番号:) ・()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3)

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし
下地の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・充填工法 ・モルタル塗替え工法 ・()

(9.3.4)

工法
通気層の有無 ・あり(mm) ・なし
断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による ・()
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による ・()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・適用しない
不陸等の下地調整 ・行う

4

断熱・防露改修工事
(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	
・フェノールフォーム断熱材	
・()	

施工箇所 ・図示(図面番号:) ・()

(9.5.3)

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・A種1 ・A種1H ・()
厚さ(mm) ・25 ・30 ・()
施工箇所 ・図示(図面番号:)

(9.5.4)

・現場発泡断熱材(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

5

屋上緑化改修工事
(9.6.1)(9.6.2)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・適用する ・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・図示(図面番号:) ・()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・図示(図面番号:) ・()

(9.6.3)

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

かん水装置 ・設置する(種類 ・ ・)
既存保護層の撤去 ・行う ・行わない

6

透水性アスファルト舗装改修工事
(9.7.2)~(9.7.7)(9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・図示(図面番号:) ・()

路床

種別	材料	厚さ[mm]
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示(図面番号:) ・()
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・()	・図示(図面番号:) ・()
・フィルター層	・砂 ・()	・図示(図面番号:) ・()

路床安定処理
・添加材料による安定処理
種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号)
添加量 (kg/m2) (目標08R ・5以上 ・)

・ジオテキスタイル
単位面積質量 ・60g/m2以上 ・()
厚さ[mm] ・0.5~1.0 ・()
引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・()
透水係数 ・1.5×10⁻²~1cm/sec以上 ・()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない
路床締固め度の試験 ・行う ・行わない
現場CBR試験 ・行う ・行わない

路盤

路盤の構成及び厚さ ・図示(図面番号:) ・()
路盤材料
・再生材のクラッシャーラン
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・図示(図面番号:)
・()

試験
路盤締固め度の試験 ・行う ・行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
ストレートアスファルト	・図示(図面番号:) ・()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ・著しい不陸がないもの ・()

アスベスト部分
床:ビニルアスベスト系タイル(VT)
天井塗装:ホルキン(PV)塗装
階段Aあげ裏、階段B・C、アリーナ横
天井・軒裏:フレキシブルボード(軟質)

特記

工事名

マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)等改修工事

縮尺

—

図面番号

A-07

HAKUHO

Architech

白鳳アーキテック 株式会社

1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認

1級 256630号
萱室 克明

図面提出日 2021/01/20

管理建築士

印



特 記	工事名	マツヤマSSKアリーナ（名張市総合体育館）等 改修工事			 1級建築士事務所 登録（三重1-1987号） 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.on.ne.jp	承 認		管理建築士	印
	図名	位置図	縮尺 A2：1／2500 A3：1／3521	図面番号 A-08			1級 256630号 萱室 敦司		
						図面提出日 2021／01／20			

工 事 概 要

工事名称

マツヤマSSKアリーナ（名張市総合体育館）等改修工事

地名地番

三重県名張市 夏見 地内

敷地面積

11,050.00 m2

都市計画

●都市計画区域内（〇市街化区域 〇市街化調整区域 ●区域区分未非設定都市計画区域）
〇準都市計画区域内
〇都市計画及び準都市計画区域外

用途地域

〇第1種低層住居専用地域 〇第2種低層住居専用地域 〇第1種中高層住居専用地域 〇第2種中高層住居専用地域
〇第1種住居地域 〇第2種住居地域 〇準住居地域 〇田園住居地域 〇近隣商業地域 〇商業地域
〇準工業地域 〇工業地域 〇工業専用地域 ●指定無し（一般地区） 〇指定無し（特定地区）

形態制限

〇有（ ） ●無

地区計画

〇有（ ） ●無

立地適正化計画

〇居住誘導区域内 〇居住誘導区域外（〇届出必要 〇届出不要）
〇都市機能誘導区域内 〇都市機能誘導区域外（〇届出必要 〇届出不要） ●指定無し

その他
地区・地域

〇特別用途地区（ ） 〇特例容積率適用地区（ ）
〇特定用途制限地域（ ） 〇高層住居誘導地区（ ）
〇高度地区（ ） 〇都市再生特別地区（ ）
〇高度利用地区（ ） 〇特定災害街区整備地区（ ）
●景観地区（三重県景観計画区域） 〇歴史的風土特別保全地区（ ）
〇特定街区（ ） 〇伝統的建造物群保存地区（ ）
〇生産緑地地区（ ） 〇航空機騒音障害防止地区
〇特別緑地保存地区（ ） 〇航空機騒音障害防止特別地区
〇風致地区（ ） 〇その他（ ）

防火地域

〇防火地域 〇準防火地域
●指定無し（●22条指定地域内 〇22条指定地域外）

基準建ぺい率（%）

〇30 〇40 〇50 ●60 〇70 〇80 ※ 〇都市計画区域外
角地緩和適用 〇有（上記＋10%） ●無
耐火関係緩和適用 〇有（上記＋10%） ●無

基準容積率（%）

〇50 〇60 〇80 〇100 〇150 ●200 〇300 〇400 ※ 〇都市計画区域外
緩和適用 〇有（ ） 上記＋ % ●無

道路・壁面後退

主前面道路（東・北側）（14.00 m）
その他前面道路（側）（ m）（側）（ m）
（側）（ m）（側）（ m）
都市計画道路 〇有（側）（ m） ●無
壁面後退 〇有（側）（ m） ●無
道路許可・認定（建築基準法43条2項） 〇要 ●不要

敷地概要

建築協定

〇該当 ●非該当（ ）

絶対高さ制限

〇該当 ●非該当（ ）

日影規制

〇該当 ●非該当（〇隣接規制地区（〇有 ●無）

中高層建築物

〇該当 ●非該当（最高高さ10 m以上は必要）

景観条例

〇該当 ●非該当（最高高さ10 m以上は必要）

屋外広告

〇該当 ●非該当 ●※利用状況により施主にて届出必要

省エネ申請

〇該当（〇省エネ届出 〇省エネ適利） ●非該当

バリアフリー法

〇特別特定建築物（適合義務） 〇特定建築物（努力義務） ●対象外

ユニバーサル・福祉条例等

〇該当（適合義務対象） 〇該当（適合義務対象外） ●非該当

立地法（大店・工場）

〇該当 ●非該当

消防同意

〇要 ●不要

危険物届出

〇該当 ●非該当 ●※利用状況により施主にて届出必要
（〇製造所 〇一般取扱所 〇屋内貯蔵所 〇少量危険物貯蔵所）

河川法

〇該当 ●非該当（ ）

港湾法

〇該当 ●非該当（ ）

海岸法

〇該当 ●非該当（ ）

森林法

〇該当 ●非該当（ ）

自然公園法

〇該当 ●非該当（ ）

騒音規制法

〇該当 ●非該当 ●※利用状況により施主にて届出必要

振動規制法

〇該当 ●非該当 ●※利用状況により施主にて届出必要

水質汚濁防止法

〇該当 ●非該当 ●※利用状況により施主にて届出必要

大気・悪臭関係

〇該当 ●非該当 ●※利用状況により施主にて届出必要

砂防地域

〇該当 ●非該当

急傾斜地域区域指定

〇該当 ●非該当（ ）

警戒区域等

〇該当 ●非該当
（〇土砂災害特別警戒区域 〇土砂災害警戒区域 〇災害危険区域
〇急傾斜地崩壊危険区域 〇その他（ ））

緑化協定・緑化計画関係

〇該当 ●非該当（ ）

附置義務駐車場関係

〇該当 ●非該当（ ）

流通業務市街地整備法

〇該当 ●非該当（ ）

特定都市河川浸水被害対策法

〇該当 ●非該当（ ）

市街地再開発事業・都市施設

〇該当 ●非該当（ ）

中間検査（建築確認）

〇有 ●無（ ）

開発申請（都計法32条・29条）

〇該当 ●非該当（〇申請済）

宅地開発条例申請

〇該当 ●非該当（ ）

指導要綱申請・土地利用条例申請

〇該当 ●非該当（※ ●伊賀市土地利用に関する条例）

建築許可申請（都計法42条）

〇該当 ●非該当（ ）

建築許可申請（都計法43条）

〇該当 ●非該当（ ）

60条証明申請（都計法施行規則60条）

〇該当 ●非該当（※ 〇不要協議のみ必要）

土壌汚染対策防止法

〇該当 ●非該当（〇申請済）

埋蔵文化財包蔵地

〇該当 ●非該当（ ）

農業振興地域

〇農用地区域 〇その他区域（白地地域） ●非該当

農地転用（農地法4条・5条）

〇該当 ●非該当（ ）

道路加工・施工承認申請（道路法24条）

〇該当 ●非該当（〇申請済）

道路・水路占用許可申請

〇該当 ●非該当（ ）

主要用途

体育館・事務所

工事種別

〇新築 〇増築 〇改築 〇移転 〇用途変更 〇大規模の修繕 〇大規模の模様替 ●改修

建築面積

1. マツヤマSSKアリーナ（総合体育館） 4386.51 m2
2. 勤労者福祉会館 554.73 m2
3. m2
4. m2
5. m2
6. m2
7. m2
8. m2
9. m2
合 計 4941.24 m2
※高さ・階数の不算入部分 〇有（階段室・昇降機塔・裝飾塔・物見塔・屋窓 等） ●無
m2 ÷ 8 = m2 ≥ m2 → m2 は除外

延床面積

1. マツヤマSSKアリーナ（総合体育館） 5710.48 m2
2. 勤労者福祉会館 877.08 m2
3. m2
4. m2
5. m2
6. m2
7. m2
8. m2
9. m2
合 計 6587.56 m2
※容積率算定に対し延床面積の不算入部分 〇有（自動車庫等 1／5以下） ●無
m2 ÷ 5 = m2 ≥ m2 → m2 は除外

建ぺい率

建ぺい率算定建築面積 4941.24 m2 44.72 % < 60.00 %

容積率

容積率算定床面積 6587.56 m2 59.62 % < 200.00 %

電気設備工事
（本工事）

引込工事（●既設有 〇既設無 新規引込 〇対象外） 高圧受電【改修】
構内配電線路【ケーブル引換管路新設】【受電〇〇B更新】

電気設備工事（別途工事）

－

避雷針設備工事

－

暖房設備工事

－

給排水衛生設備工事

水洗便所、衛生器具、水栓器具

上水道引込工事

引込工事（●既設有（φ） 〇既設無 新規引込（φ） 〇対象外） 〇井戸水利用

公共下水道工事

最終宅内樹設置工事（〇有 〇無 ●対象外） ※受益者負担金（〇含む 〇含まない ●対象外）

浄化槽工事

既存のまま

空調設備工事（本工事）

－

空調設備工事（別途工事）

－

換気設備工事（本工事）

－

ガス設備工事（別途工事）

－

ガス設備引込工事

引込工事（〇既設有（φ） 〇既設無 新規引込（φ） ●対象外 〇対象外（※別途工事）

厨房設備工事（本工事）

－

厨房設備工事（別途工事）

－

冷蔵庫帯設備工事（別途工事）

－

消防設備工事

防災複合盤 【更新】

昇降設備工事

－

備品工事（本工事）

－

備品工事（別途工事）

－

その他工事（本工事）

放送設備 【アンプ更新】

その他工事（別途工事）

－

各路床・造成工事

－

アスファルト舗装工事

－

コンクリート舗装工事

－

砕石・砂利敷き工事

－

白線引き工事

－

駐車区画

－

排水構築物

－

囲障・フェンス

－

擁壁・構築物

－

看板

－

その他

－

外構工事
（本工事）

－

外構工事
（別途工事）

－

棟 名

1. マツヤマSSKアリーナ（総合体育館） 2. 勤労者福祉会館

法 区 分

1号建築物 3号建築物 ー 建築物

消防区分

令別表第1 第 1 項（イ） 令別表第1 第 15 項（ー） 令別表第1 第 ー 項（ー）

用 途

体育館 事務所 ー

工事種別

〇新築 〇増築 〇改築 〇既設 ●改修 〇新築 〇増築 〇改築 〇既設 ●改修 〇新築 〇増築 〇改築 〇既設

階 数

地上2階、地下0階、塔屋0階 地上2階、地下0階、塔屋0階 地上0階、地下0階、塔屋0階

構 造

OSRC ●RC ●S OCB OW OSRC ●RC OS OCB OW OSRC ●RC OS OCB OW

耐火関係

●耐火建築物（●義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
●その他建築物
〇耐火建築物（〇義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
●その他建築物
〇耐火建築物（〇義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
〇その他建築物

設計GL

設計GL=281.131（ー） 設計GL=281.05（ー） 設計GL=ー（ー）

最高の高さ

設計GL＋ 10.665 m 設計GL＋ 8.00 m 設計GL＋ ー m
（平均設計GL＋ 10.665 m）（平均設計GL＋ 8.00 m）（平均設計GL＋ ー m）

最高の軒高

設計GL＋ 10.40 m 設計GL＋ 7.50 m 設計GL＋ ー m
（平均設計GL＋ 10.40 m）（平均設計GL＋ 7.50 m）（平均設計GL＋ ー m）

建築面積

4386.51 m2 554.73 m2 ー m2

床面積

1F 3977.75 m2 1F 526.78 m2 1F ー m2
2F 1778.38 m2 2F 350.30 m2 2F ー m2
3F 31.00 m2 3F ー m2 3F ー m2
合計 5756.13 m2 合計 877.08 m2 合計 ー m2

棟 名

4. ー 5. ー 6. ー

法 区 分

ー 建築物 ー 建築物 ー 建築物

消防区分

令別表第1 第 ー 項（ー） 令別表第1 第 ー 項（ー） 令別表第1 第 ー 項（ー）

用 途

ー ー ー

工事種別

〇新築 〇増築 〇改築 〇既設 〇新築 〇増築 〇改築 〇既設 〇新築 〇増築 〇改築 〇既設

階 数

地上0階、地下0階、塔屋0階 地上0階、地下0階、塔屋0階 地上0階、地下0階、塔屋0階

構 造

OSRC ORC OS OCB OW OSRC ORC OS OCB OW OSRC ORC OS OCB OW

耐火関係

〇耐火建築物（〇義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
〇その他建築物
〇耐火建築物（〇義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
〇その他建築物

設計GL

設計GL= ー（ー） 設計GL= ー（ー） 設計GL= ー（ー）

最高の高さ

設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m
（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）

最高の軒高

設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m
（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）

建築面積

ー m2 ー m2 ー m2

床面積

1F ー m2 1F ー m2 1F ー m2
2F ー m2 2F ー m2 2F ー m2
3F ー m2 3F ー m2 3F ー m2
合計 ー m2 合計 ー m2 合計 ー m2

棟 名

7. ー 8. ー 9. ー

法 区 分

ー 建築物 ー 建築物 ー 建築物

消防区分

令別表第1 第 ー 項（ー） 令別表第1 第 ー 項（ー） 令別表第1 第 ー 項（ー）

用 途

ー ー ー

工事種別

〇新築 〇増築 〇改築 〇既設 〇新築 〇増築 〇改築 〇既設 〇新築 〇増築 〇改築 〇既設

階 数

地上0階、地下0階、塔屋0階 地上0階、地下0階、塔屋0階 地上0階、地下0階、塔屋0階

構 造

OSRC ORC OS OCB OW OSRC ORC OS OCB OW OSRC ORC OS OCB OW

耐火関係

〇耐火建築物（〇義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
〇その他建築物
〇耐火建築物（〇義務 〇任意）
〇延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇準耐火建築物（〇義務 〇任意）
<〇イー1 〇イー2 〇ロー1 〇ロー2>
〇準延焼防止建築物（〇義務 〇任意）
〇その他建築物－防火構造等
〇その他建築物－開口防火設備等
〇その他建築物

設計GL

設計GL= ー（ー） 設計GL= ー（ー） 設計GL= ー（ー）

最高の高さ

設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m
（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）

最高の軒高

設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m 設計GL＋ ー m
（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）（平均設計GL＋ ー m）

建築面積

ー m2 ー m2 ー m2

床面積

1F ー m2 1F ー m2 1F ー m2
2F ー m2 2F ー m2 2F ー m2
3F ー m2 3F ー m2 3F ー m2
合計 ー m2 合計 ー m2 合計 ー m2

特 記

工事名

マツヤマSSKアリーナ（名張市総合体育館）等 改修工事

図名

工事概要

縮尺

A 2：ー
A 3：ー

図面番号

A－09

1級建築士事務所 登録（三重1ー1987号）
〒518ー0775 三重県名張市希央台5番町109番地
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承 認

● ● ●

管理建築士

1級 256630号
萱室 敬司

印

図 面 提 出 日

2021/01/20

内 部 仕 上 表 3 （材料は全て同等品とする。）																
F	室 名	現況 改修後	内装制限	法的規制 居室種別		床	巾 木	H	腰 壁	壁	天 井	廻 縁	天井高	備 考	室 名	
総合 体育館 1	渡り廊下	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え	コンクリート打放 【現状のまま】	1 0 0			コンクリート打放【現状のまま】	ＬＧＳ下地【現状のまま】	塩ビ	2 4 0 0		渡り廊下
				非居室	仕 上	ビニルアスベスト系タイル 厚2. 0（アスベスト含有）	ＶＰ塗装【一部撤去】			ＥＰ塗装【一部撤去】	化粧ＰＢ 厚9【一部撤去】	【一部撤去】				
		改修後		－	下 地		コンクリート打放 【一部下地調整】	1 0 0		コンクリート打放【一部下地調整】	ＬＧＳ下地【現状のまま】	塩ビ	【現状のまま】	破損・雨漏れ箇所修繕		
				非居室	仕 上	【現状のまま】	ＳＯＰ塗装【一部新設】			ＥＰ塗装【一部新設】	化粧ＰＢ 厚9. 5【一部新設】	【一部新設】				
	ホール2	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え【現状のまま】	コンクリート打放 【現状のまま】	1 0 0			コンクリート打放【現状のまま】	ＬＧＳ下地【現状のまま】、ＰＢ 厚9【一部撤去】	塩ビ	2 7 0 0	ステンレス製番拭きマット【現状のまま】	ホール2
				非居室	仕 上	エポキシ樹脂塗床 厚1. 5【撤去】	ＶＰ塗装【撤去】			ＥＰ塗装【撤去】	ＥＰ塗装【一部撤去】					
		改修後		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え【ケレン・清掃】	コンクリート打放 【下地調整】	1 0 0		コンクリート打放【下地調整】	ＬＧＳ下地 【現状のまま】、ＰＢ 厚9. 5【一部新設】	【現状のまま】	【現状のまま】	雨漏れ箇所修繕		
				非居室	仕 上	長尺塩ビシート 厚2. 0【新設】	ＳＯＰ塗装【新設】			ＥＰ塗装【新設】	下地調整の上、ＥＰ全面塗替【新設】			ダウンライト φ1 0 0×6箇所【下地調整の上、ＳＯＰ塗替】		
	倉庫	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え		1 0 0			コンクリート打放	ＬＧＳ下地	－	2 7 0 0		倉庫
				非居室	仕 上	ビニルアスベスト系タイル 厚2. 0（アスベスト含有）	ソフト巾木			ＥＰ塗装	化粧ＰＢ 厚9					
		改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】			
				非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
	医務室	現況		－	下 地	コンクリート床面ケレン		1 0 0			外壁部：ＰＢ 厚1 2. 5（ＧＬ工法） 間仕切り壁：ＰＢ 厚1 2. 5、その他壁：モルタル下地	ＬＧＳ下地	塩ビ	2 7 0 0		医務室
				居 室	仕 上	ビニル床シート 厚2. 0	ソフト巾木			ビニルクロス貼	化粧ＰＢ 厚9					
		改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】			
				居 室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
	授乳室	現況		－	下 地	コンクリート床面ケレン		1 0 0			ＰＢ 厚1 2. 5（ＧＬ工法）	ＬＧＳ、ＰＢ 厚9. 5	塩ビ	2 4 0 0		授乳室
				居 室	仕 上	タイルカーペット 厚7 踏込部：ビニルシート貼 厚2	ソフト巾木			ビニルクロス貼	岩綿吸音板 厚9					
		改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】			
				居 室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
	事務室	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え		1 0 0			コンクリート打放	ＬＧＳ、ＰＢ 厚9	－	2 7 0 0		事務室
				居 室	仕 上	ビニルアスベスト系タイル 厚2. 0（アスベスト含有）	ソフト巾木			ＥＰ塗装	岩綿吸音板 厚1 2					
		改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】			
				居 室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
廊下1	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え【現状のまま】					コンクリート打放【現状のまま】	ＬＧＳ下地	塩ビ	2 4 0 0		廊下1	
			非居室	仕 上	ビニルアスベスト系タイル 厚2. 0（アスベスト含有）【一部撤去】				ＥＰ塗装【一部撤去】	化粧ＰＢ 厚9【一部取外し】	【一部取外し】					
	改修後		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え【一部ケレン・清掃】				コンクリート打放【一部下地調整】	ＬＧＳ下地【現状のまま】	塩ビ	【現状のまま】	鋼製建具【一部部品交換】 掲示板：W900×H1800、W1800×H900×3箇所、W500×H900【脱着復旧】 案内板：W650×H1000【脱着復旧】 設備盤：W650×H1500、W650×H1800 操作盤：W340×H500【下地調整の上、SOP塗装】			
			非居室	仕 上	Pタイル 【一部新設】				ＥＰ塗装【一部新設】	化粧ＰＢ 厚9【一部復旧】	【一部復旧】					
男子便所	現況		－	下 地	セルフレベリング		6 0			ＰＢ 厚1 2. 5（ＧＬ工法）	ＬＧＳ下地、ケイカル板 厚6	－	2 3 5 0		男子便所	
			非居室	仕 上	ビニル床シート 厚2. 0	ソフト巾木			化粧ケイカル板 厚6 目透し張	ＥＰ塗装						
	改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】				
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】						
女子便所	現況		－	下 地	セルフレベリング		6 0			ＰＢ 厚1 2. 5（ＧＬ工法）	ＬＧＳ下地、ケイカル板 厚6	－	2 3 5 0		女子便所	
			非居室	仕 上	ビニル床シート 厚2. 0	ソフト巾木			化粧ケイカル板 厚6 目透し張	ＥＰ塗装						
	改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】				
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】						
多目的便所	現況		－	下 地	セルフレベリング		6 0			ＰＢ 厚1 2. 5（ＧＬ工法）	ＬＧＳ下地、ケイカル板 厚6	－	2 4 0 0		多目的便所	
			非居室	仕 上	ビニル床シート 厚2. 0	ソフト巾木			化粧ケイカル板 厚6 目透し張	ＥＰ塗装						
	改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】				
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】						
男子・女子 ロッカー室	現況		－	下 地	モルタル面ケレン		1 0 0			コンクリート壁面ケレン 間仕切り壁：ＰＢ 厚1 2. 5 ＥＰ塗装 ビニルクロス貼	ＬＧＳ、ＰＢ 厚9. 5	－	2 4 0 0		男子・女子 ロッカー室	
			非居室	仕 上	防滑塩ビシート 厚2. 0	ソフト巾木				岩綿吸音板 厚6						
	改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】				
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】						
男子・女子 シャワー室前室	現況		－	下 地	モルタル面ケレン		1 0 0			コンクリート壁面ケレン 間仕切り壁：ＬＧＳ9 0、ＰＢ 厚1 2. 5 ＥＰ塗装 ビニルクロス貼	ＬＧＳ、ＰＢ 厚9. 5	－	2 4 0 0		男子・女子 シャワー室前室	
			非居室	仕 上	防滑塩ビシート 厚2. 0	ソフト巾木				岩綿吸音板 厚6						
	改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】				
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】						
男子・女子 シャワー室	現況		－	下 地	モルタル金ゴテ押え		1 5 0			シーリングボード 厚1 2. 5（ＧＬ工法） ＬＧＳ下地、耐水合板 厚1 2	ＬＧＳ下地、ケイカル板 厚6	－	2 4 0 0 2 0 5 0	ＵＢシャワーブース 壁・天井：ＬＧＳ6 5、耐水合板 厚1 2、バスパネル貼 床：コンクリートコテ押え、防滑塩ビシート貼	男子・女子 シャワー室	
			非居室	仕 上	防滑塩ビシート 厚2. 5	床塩ビシート巻上げ			化粧ケイカル板 厚6	ＥＰ塗装						
	改修後		－	下 地							【現状のまま】	【現状のまま】				
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】			
		現況			下 地											
					仕 上											
		改修後			下 地											
					仕 上											

特 記	※ 壁塗装撤去は対象範囲の付着不良部を全てはがし、ケレン・ペーパー掛けを含む下地調整を行い、再塗装をするものとする。	工事名		マツヤマＳＳＫアリーナ（名張市総合体育館）等 改修工事			1級建築士事務所 登録（三重1－1987号） 〒518－0775 三重県名張市希央台5番町109番地 ＴＥＬ 0595-48-6066 ＦＡＸ 0595-48-6067 Ｅ-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp		承認		管理建築士	印
	※ 床長尺シート・Ｐタイル撤去は、対象範囲を全てはがし、ケレン・清掃を行った上で新設するものとする。	図名		内部仕上表 3	縮尺		A 2：－ A 3：－		図面番号		1級 256630号	萱室 敦司
							A－13					
									図面提出日		2021/01/20	

内 部 仕 上 表 4（材料は全て同等品とする。）																
F	室 名	現況 改修後	内装制限	法的規制 居室種別		床	巾 木	H	腰 壁	壁	天 井	廻 縁	天井高	備 考	室 名	
総合 体育館 1	卓球室	現況		－	下 地	鋼製床組、捨て板 厚15		100		コンクリート打放 【現状のまま】	LGS下地【現状のまま】 PB 厚9【一部撤去】	塩ビ	4000		卓球室	
				居室	仕 上	サクラフローリング 厚15、ポリウレタン塗装	木製（堅木） OP塗装【一部撤去】 【ケレン処理】			EP塗装 【一部撤去】	EP塗装 【一部撤去】	【一部撤去】				
		改修後		－	下 地		【ケレン処理】	コンクリート打放 【一部下地調整】		LGS下地【現状のまま】 PB 厚9.5【一部新設】	塩ビ	【現状のまま】	雨漏れ箇所修繕			
				居室	仕 上	【現状のまま】	OP塗装【一部新設】	EP塗装 【一部新設】		EP塗装 【一部新設】	【一部新設】					
	掃除用具庫	現況		－	下 地					コンクリート打放	コンクリート打放	－	スラブ下		掃除用具庫	
				非居室	仕 上	コンクリート打放し										
		改修後		－	下 地								【現状のまま】	【現状のまま】		
				非居室	仕 上	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
	トレーニング室2	現況		－	下 地	モルタル下地	ソフト巾木	100		コンクリート打放	LGS下地	塩ビ	2400		トレーニング室2	
				居室	仕 上	ビニルアスベスト系タイル 厚2.0（アスベスト含有）				EP塗装	化粧PB 厚9					
		改修後		－	下 地								【現状のまま】	【現状のまま】		
				居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
	物入1	現況		－	下 地					モルタル下地	LGS下地、フレキシブルボード 厚4（アスベスト含有）	－	2350		物入1	
				非居室	仕 上	コンクリートコテ押え				陶器質100角タイル貼	VP塗装					
		改修後		－	下 地								【現状のまま】	【現状のまま】		
				非居室	仕 上	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
	ステージ	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え	コンクリート打放	100		コンクリート打放	コンクリート下地	－	－	ブドウ棚 ステージ下：イス台車収納庫	ステージ	
				居室	仕 上	長尺ビニルシート貼 厚2.0				コンクリート打放	ブドウ棚付近：木毛マグネシウム板 厚20 天井付近：ロックウール吹付け 厚25 一部：EP塗装	ロックウール吹付け 厚25				
		改修後		－	下 地								【現状のまま】	【現状のまま】		
				居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
	アリーナ	現況		－	下 地	鋼製床組、合板 厚15	木製（堅木）、OP塗装	100		コンクリート打放 LGS下地、センチュリーボード 厚18 コンクリート下地：EP塗装 ボード下地：VP塗装	ALC 厚125 ロックウール吹付け 厚25 観覧席下：フレキシブルボード 厚4（アスベスト含有）、VP塗装	－	－	天井 鉄骨トラス OP塗	アリーナ	
				居室	仕 上	サクラフローリング 厚15、ポリウレタン塗装										
		改修後		－	下 地								【現状のまま】	【現状のまま】		
				居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】		アリーナ出入口扉不具合 【一部改修】			
	ホール1	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え【現状のまま】	コンクリート打放	100		コンクリート打放	LGS下地、梁：コンクリート打放 【現状のまま】 PB 厚9【一部撤去】、EP塗装 【一部撤去】 梁：EP塗装【現状のまま】	塩ビ 【一部取外し】	3000	防火シャッター【交換】 鋼製建具【一部部品交換】	ホール1	
				非居室	仕 上	エポキシ樹脂塗床 厚1.5【一部撤去】	VP塗装				EP塗装					
		改修後		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え【一部ケレン・清掃】					LGS下地、梁：コンクリート打放 【現状のまま】 PB 厚9.5【一部新設】、EP塗装 【一部新設】 梁：EP塗装【現状のまま】	塩ビ 【一部復旧】	【現状のまま】			
				非居室	仕 上	一部長尺塩ビシート貼 厚2.0【一部新設】	【現状のまま】			【現状のまま】	【現状のまま】					
トレーニング室1	現況		－	下 地	モルタル金ゴテ押え	コンクリート打放	100		コンクリート打放	コンクリート打放	－	スラブ下		トレーニング室1		
			居室	仕 上	防塵塗装	VP塗装				EP塗装	EP塗装					
	改修後		－	下 地									【現状のまま】		【現状のまま】	
			居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
器具庫1	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え		100				－	スラブ下		器具庫1		
			非居室	仕 上	防塵塗装	コンクリート打放				コンクリート打放	コンクリート打放					
	改修後		－	下 地									【現状のまま】		【現状のまま】	
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
ホール3	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え	コンクリート打放	100		コンクリート打放	LGS下地、PB 厚9	塩ビ	2700		ホール3		
			非居室	仕 上	エポキシ樹脂塗床 厚1.5	VP塗装				EP塗装	EP塗装					
	改修後		－	下 地									【現状のまま】		【現状のまま】	
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
記録室	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え		100		ロックウール 厚25、有孔PB 厚12	LGS下地、PB 厚9	塩ビ	2200 2600		記録室		
			居室	仕 上	ニードルパンチカーペット	木製（堅木）、OP塗装				EP塗装	岩綿吸音板 厚12					
	改修後		－	下 地									【現状のまま】		【現状のまま】	
			居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
物入2	現況		－	下 地					モルタル下地	LGS下地、フレキシブルボード 厚4（アスベスト含有）	－	2350		物入2		
			非居室	仕 上	コンクリート金ゴテ押え						陶器質100角タイル貼		VP塗装			
	改修後		－	下 地									【現状のまま】		【現状のまま】	
			非居室	仕 上	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】						
器具庫2	現況		－	下 地	コンクリート金ゴテ押え		100				－	スラブ下		器具庫2		
			非居室	仕 上	防塵塗装	コンクリート打放				コンクリート打放	コンクリート打放					
	改修後		－	下 地									【現状のまま】		【現状のまま】	
			非居室	仕 上	【現状のまま】	【現状のまま】				【現状のまま】	【現状のまま】					
	現況			下 地												
				仕 上												
	改修後			下 地												
				仕 上												

